

## 第2回二宮町まちづくり評価委員会 会議要旨

開催日時	平成31年2月15日（金）10時00分～12時30分	
開催場所	二宮町役場2階 第1会議室	
出席者	委員	出席5名 大工原主馬 委員、湯川恵子 委員、吉田美佳子 委員、片岡宇一郎 委員、間中 晟委員
	その他	傍聴 0名
	町職員	政策担当参事
	事務局	政策総務部企画政策課3名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. あいさつ</li> <li>3. 議 題               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 政策評価に対する意見について</li> <li>(2) 第5次二宮町総合計画中期基本計画における行政評価の意見書について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>4. 閉会</li> </ol>	
配布資料	資料1 第5次二宮町総合計画中期基本計画における行政評価の意見書（案）	

## ■会議概要

### 1. 開会

### 2. あいさつ

### 3. 議 題 【質疑・意見など】（※◎は会長、○は委員、●は事務局の発言）

#### （1）政策評価に対する意見について

##### 政策「生活の質の向上と定住人口の確保」

- 構成として、重点的方針の施策のどこに紐づけられているか分かるように、順番通りに表記してはどうか。また、意見のとりまとめについては、他の個別の意見と分けて表記したほうがよい。
- ◎ すべての施策について意見が述べられていないので、意見がない施策に対する誤解が生じないように、バランスに気を付けるべきである。前回の議論では、施策ごとに意見を整理するとの前提で議論はされていないため、必ずしもすべての施策に対する意見を位置付ける必要はない。
- どの施策にも該当するような意見の取扱いはどうするのか。
- 前回の意見の文脈から読み取り、意図するものに近い施策に整理するという考え方もある。
- ◎ 複数の施策に該当する意見については、必ずしも1つの施策に整理する必要はなく、該当する施策すべてに紐つけてはどうか。
- 施策ごとに意見を整理することは賛成である。整理にあたっては、施策名を表記すると文章量が多くなり分かりづらくなるため、施策名を一部省略したもの又はキーワード等を用いてはどうか。
- ◎ これまでの意見を踏まえ、意見を重点的方針の施策の順番通りに表記することとし、またどの施策に該当するか分かるように、意見の後ろに施策番号を表記することでいかがか。なお、複数の施策に該当する意見については、該当する施策番号を並列で表記することでいかがか。
- 異議なし。
- 意見書を始めて読んだ人にも分かるように、できるだけ丁寧な表現をするべきである。
- 意見書は、前回の意見から重要な要素を抽出しているものなので、意図している意見と相違がないように気を付けるべきである。同時に、意見書を見た町民に誤解を生じさせないように表現を工夫する必要がある。
- 意見を全部表記することはできないため、十分にポイントを絞るべきである。
- ◎ これまで議論してきたプロセスはもちろん大事であり、意見書を委員会として責任のあるものとするために、誤解が生じないように意見を取りまとめていくこととする。
- ◎ 情報発信に関する意見で、「町が主導していく」との表記があるが、前回の会議で、「町民の力の活用」が大事であるとの議論がされていたため、主体が町で

あると強調されている表現はいかがなものか。

- 別の意見にも情報発信に関する表記があり、意見の違いは何か。
- 最初の情報発信についての意見は、地域や町民による定住促進の取り組みについて示している。2つ目の意見は、町による議事録や広報紙等の取り組みの発信について示している。
- ◎ 2つの意見を統合してはどうか。
- 町民の力を活用した情報発信については、町は主導というより、場の提供などの支援をしていく立場になるのではないか。
- 2つ目の情報発信は、どちらかという情報共有という意図が近いと感じる。
- 前回の議論を踏まえ、2つの意見の意図として、「地域や町民はSNSなどを活用し、町の取り組みを幅広く情報発信しており、町も幅広い媒体を活用し情報発信に取り組む必要がある」と整理してはいかがか。
- ◎ 事務局の提案どおり、2つの意見を統合し、2つの主体による情報発信の意味の違いを明確にするということではいかがか。
- 異議なし。
- 「情報の共有やニーズに即した支援が実施できる体制づくり」と、「現場に向いて声を聞きとる積極性」の2つの意見は、どの施策として整理するのか。
- 2つの意見は、子育ての分野だけでなく、福祉の分野も含まれている。
- ◎ 施策1と3の両方に該当すると整理してはいかがか。
- 異議なし。

### 政策「環境と風景が息づくまちづくり」

- 売電単価に関する意見は、前回の議論で出された意見の1つではあるが、町が取り組んでいるというような誤解を生じさせる可能性もあるため、削除すべきである。
- ◎ この議論での重要な点は、「事業の精査の必要性」であるため、表記をいれる必要性はないと思う。意見から、売電単価に関する文章を一部削除することでいかがか。
- 異議なし。
- 地域に仕事を生み出す取り組みでは、起業支援だけが着目されているが、起業した後に継続的に経営を支援することも重要であるため、その意見も含めるべきである。
- 産業分野では、起業及び経営支援を行ってはいるがあまり見えてこない。もっと推進していくべきである。
- ◎ 起業ではなく「企業」にして、もう少し大きな枠組みとして捉えてはどうか。
- 商工業振興という表記を追加してはどうか。
- ◎ 産業が活性することで雇用創出にもつながるため、施策4の意見としても位置付けるべきである。
- 意見を踏まえ、文章の後半を「起業支援だけでなく、町内の産業の活性化に

必要な町の取り組みに力を入れつつ、施策を改善する必要がある。」と修正してはいかがか。

- 異議なし。
- 「人材」という表記について、町にとって人は財産であるとの考え方をもっているのであれば、「人材」と表記してはどうか。
- 人材という表記は、認識率がどの程度あるかが疑問である。単なる表記の誤りに捉えられないか。
- ◎ この政策だけではなく、全体に波及する問題である。もし強調するのであれば、財産の「財」としての町民の力を活用するという意図で、委員会の意見として「人材」を使用している旨を明確にするべきである。総論の中で意見を追加してはどうか。
- 異議なし。

### 政策「交通環境と防災対策の向上」

- コンパクトな町という表記があるが、コンパクトの定義は明確ではないため削除してはいかがか。
- ご指摘のとおり削除する。
- 交通アクセスについての意見の中で、「その他の地域」という表記があるが、あえて差別化する必要はあるのか。
- 町としては、交通不便地域だけでなく、全体の交通網を管理していく必要性があると考えている。
- 南北に伸びた秦野二宮線に比べ、東西に延びる道路は町内を循環するバスが多い。今後循環するバスが減少することで、生活の不便さが生じる可能性があるということを意図した発言である。
- 例えば、コミュニティバスの運行状況を指標としたら、目に見える評価になる可能性があるのではないか。
- コミュニティバスは、全地域に運行しているものではない。交通手段としては、別のものもあるのではないか。
- 町としては、誰もが移動手段を確保できる交通網の形成を目指している。そのため、コミュニティバスに特化した表記ではなく、バスやタクシーなどの様々な移動手段の意味を含む「公共交通」と表記してはいかがか。
- ◎ 誰もが移動手段を確保できるという意図を含めるべきである。
- 「誰も」を想定するのであれば、やはり地域を差別する表記をするべきではない。
- ◎ 「その他の地域」を削除することでいかがか。
- 異議なし。
- トップダウンによる強力な実行意思との表記には、違和感がある。町の取り組みは町と町民が一丸となって進めていくものであるため、そういった旨に修正するべきである。

- ◎ トップダウンを含む一部の表現を削除することでいかがか。
- 異議なし。
- まとめの意見で、町民の声に傾けることは記載があるが、対話も必要になるため追加すべきである。
- ご指摘の通り修正する。

### 政策「戦略的行政運営」

- 「若い優秀な職員の増加により、議会对応なども良くなった」との意見があるが、因果関係が結びつかない。
- ◎ やる気のある職員のチームワークにより、成果がでていているという意図なのではないか。
- 前回の議論の中で、この委員会では、課題だけでなく良さも評価していくべきであるとしているため、より現状にあった表現で正しく伝えるべきである。
- 議会对応より、窓口対応や地域での取り組みに対する評価の方が適切だと思う。
- コンサルに丸投げしているという表現に懸念がある。実際には、職員は地域と細かく調整しているため、外部の専門的な知見を取りいれるとともに、職員の能力向上にもつながっているというような内容に修正してほしい。
- ご指摘のとおり修正する。
- 部署の横断的な連携が弱い気がする。例えば、新庁舎整備などの説明の中でも大いに感じるところがある。
- 職員の取り組みや頑張りとはなかなか町民には伝わっていないため、中身をもっと明確にすることで、その課題が少しでも解消できるのではないか。
- 横断的な連携は重要であるが、行政は専門性も必要となる場合もあるため、縦割りも時には必要となると思う。双方を含めて「連携」という表現ではどうか。
- 横断的な連携は、縦割りと比較して目に見えない部分であるため、やはり弱い部分であると感じている。
- ◎ 実際に職員は取り組んでいても、町民に伝わっていないという差をどう埋めるのが課題である。重要なのは「人」であり、部署を越えて互いに情報共有していくことが求められている。
- 町民に分かるように体制作りを工夫することとしたらどうか。
- 職員数や対応できる範囲は限りがあるため、今後の体制作りは非常に重要であると考えている。
- 良い体制作りをすることで、人材の育成にもつながることなので、一步踏み込んだ表現にしてほしい。
- 意見を踏まえ、横断的な取り組みと町民に中身が見える体制作りの趣旨を、広域連携の推進の意見の中に取り入れて修正することでいかがか。
- 異議なし。

## 行政評価システムの見直しについて

- ◎ 項目として「その他」に区分するなど、政策の評価とは表記を分けるべきである。
- ご指摘のとおり修正する。
- ◎ 「評価を実施することにより職員のモチベーションが下がってしまう」と「誠意をもって町民に説明をするべき」は何を示しているのか。
- 1つ目は、現在の評価システムでは課題が強調されてしまうため、良い評価が見えにくくなっていることを示している。2つ目は、成果指標の数値化に関する議論の中で、町民に分かりやすいように誠意ある姿勢を持つことが重要であるという意見を示している。
- 目標に向けて努力しているプロセスも重要であるため、プロセスも評価に表せるようにすべきである。
- 意見の前提として、今回評価システムの見直しをした経緯をしっかりと明記するべきである。
- 意見を踏まえ修正する。

### (2) 第5次二宮町総合計画中期基本計画における行政評価の意見書について

- 3段落目の1文目が長い為、2文に分割してはどうか。また、町の主体性が強く出ているため、町全体で取り組む姿勢として「限りある財源と町民力、職員力を生かし」という表現に修正してはどうか。
- ご指摘のとおり修正する。
- 3つの理念のうち、「自治体経営の力」の表記がないのが気になる。
- 文章の内容に違和感なく追加できるのであれば追加してはどうか。
- 文字の揺れ等は再度確認をしてほしい。
- ご指摘のとおり修正する。
- ◎ 議事の(1)で議論した「人材(人財)」の表記を最後の段落に追加してはどうかか。
- 異議なし。

### (3) その他

- ・ 議事録の確認について。
- ・ 本日の提出資料の確認について。
- ・ 平成31年2月22日(金)頃に意見書の修正をする。修正案については、委員の総意により、会長の責任において確認する。意見書については、後日会長より町長に提出する。

## 4. 閉 会